

情報学委員会 デジタル社会を支える安全安心技術分科会(第25期・第15回)
議事要旨

日時：令和5年9月21日(木) 15:00～16:30

場所：日本学術会議 会議室 6-C(1)(2)及びオンライン

出席者(敬称略)：宮地、高田、松浦、木村、馬奈木、高木、柴山、岩村(記)

配布資料：

資料1：第25期デジタル社会を支える安全安心技術

定足数の確認

委員14名中8名が出席しており、定足数が満たされていることを確認した。

1. 公開シンポジウム(9/19開催)の総括

岩村幹事から事後アンケートの結果に関する説明があった。また、高田副委員長からは、シンポジウム参加人数が117名(参加者106名、登壇者11名)であったと報告があった。

2. 第25期の振り返り

宮地委員長が資料1を用いて、本分科会の第25期の活動履歴を振り返った。また、次期以降で取り扱うトピックについて議論し、サイバーセキュリティ研究に関する法的・倫理的な課題等があることを確認した。

3. 見解について

9/19に公開した見解「安全安心なデジタル社会に向けて」について、フォローアップ・レポート、インパクト・レポートの記載に向けて、フォローアップ方法やアプローチ先について議論した。

4. その他

今回の議事要旨は委員長一任とすることを確認した。

以上